

研究に関するお知らせ

【研究課題名】

IVRに関する医療被ばく実態調査及び線量評価

【研究の概要と目的】

国際放射線防護委員会（ICRP）の2007年勧告では、最適化における診断参考レベル（DRL：Diagnostic Reference Level）の適用を明示している。医療被ばくの中では、インターベンション治療（IVR）の寄与が大きいことから、今後のDRL見直しに向けた実態調査を行うことになった。

【本研究の対象・方法】

対象期間中にIVR手技を受けた患者様の性別、年齢、身長、体重、装置の種類、手技の種類、被ばくした放射線量を症例ごとに記録。エクセルシートに入力された匿名化データは、CDRにて日本医学放射線学会事務局に送付される。得られたデータは日本医学放射線学会、及び放射線医学総合研究所に提供され、2020年に予定されているIVRの診断参考レベル改訂に用いられる。

【研究機関】

日本医学放射線学会 茂松直之、放射線医学総合研究所 赤羽恵一を統括者とした、IVR 修練施設機関 700 施設

【個人情報の取り扱い】

- ・研究結果は、学会・学術雑誌等を通じて発表する場合がありますが、その際、患者様の名前・住所など個人を特定できるような情報は一切含まれません。

【本研究への参加と撤回の自由】

- ・本研究のための患者様への費用の負担はありません。
また、研究の対象となる患者様への謝金もありません。
- ・本研究への参加は、患者様の意思で決めますが、たとえ参加を拒否されても患者様への不利益は生じません。また同意された後でもそれを撤回することができ、それによって不利益を被ることも一切ありません。

【問い合わせ先】

研究担当者：熊本大学医学部附属病院 池田 理

住所：熊本市中央区本荘1丁目1-1 電話：096-373-5261